

レイ ホク マチ 苓北町



山崎 秀典 町長

苓北町では、人口減少・少子高齢化が顕著となり、産業における担い手の不足や地域コミュニティの衰退など、様々な課題に直面している中で、地域が活性化し発展していくためには、先ず地域を支える人づくりが大切です。「人が輝き 地域が輝く まちづくり」を目指し、町の産業を担う人づくり、町の未来を担う人づくり、そして町を興す人づくりを政策の柱としながら、職員一丸となって新たな苓北づくりに挑戦してまいります。

寄付御礼

- ・贈呈式開催(首長出席、寄付額10万円以上)
- ・感謝状贈呈(寄付額10万円以上) ・地公体広報誌掲載 ・HP掲載 ・視察受入
- ・功労者表彰推薦 ・紺綬褒章推薦
- ・その他

人口	面積	産業構造	交通アクセス
総人口……7,114人 男……3,388人 女……3,726人 世帯数……2,769世帯	総面積……67.58km ² 農用地……6.19km ² (9.2%) 森林……41.56km ² (61.5%) 宅地……2.64km ² (3.9%)	第1次産業……840(1.6%) 第2次産業……3,905(7.3%) 第3次産業……48,894(91.2%) <small>生産総額:百万円</small>	■苓北町役場まで 熊本天草幹線道路 上津浦ICから…約23km 天草空港から………約10km
人口構成比	教育機関	高等教育機関	
15歳未満……10.3% 15～64歳……46.4% 65歳以上……43.2%	小学校……4校 中学校……1校 高等学校・高専……1校 大学・専門学校他……1校	熊本県立天草拓心高校(マリン校舎) 普通科(総合コース) 海洋科学科(海洋航海コース) 海洋科学科(栽培・食品コース) 熊本県立苓北支援学校	



※データは令和4年7月発行、熊本県市町村要覧をもとに作成しております。

第2期苓北町まち・ひと・しごと創生総合戦略

人が輝き地域が輝くまちづくり

〈SDGs〉関連するゴール



- 基本目標 1** 町にしごとをつくり、安心して働けるようにする
安定した魅力ある雇用の創出と安心して働ける環境の実現を目指します。
- 基本目標 2** 町との繋がりを築き、町への新しいひとの流れをつくる
交流人口の拡大、関係人口の創出・拡大、町への移住を推進します。
- 基本目標 3** 町民の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
結婚・出産・子育てがしやすい環境を整備します。
- 基本目標 4** 人が集う、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
安心な生活を実現する環境の確保と質の高い暮らしのためのまちの機能充実を図ります。

苓北町

新しい民間企業の技術・ノウハウを積極的に活用したい政策課題・取り組み

カテゴリ 1
産業振興・
企業誘致

1 企業誘致と雇用先の確保

町外へ労働力が流出することがないよう、魅力的な雇用を創出・拡充するため、本町の地理的条件や特性を踏まえた企業誘致に取り組むほか、産業・雇用創出に向けた一体的な施策の展開など町内での就業率向上を図る必要があります。

企業様へ
半島振興法や地域未来投資促進法に基づく企業等に対する地方税の優遇措置のPRを図るとともに、企業等への税制面での支援に取り組んでおります。



福岡半島からみた苓北町

カテゴリ 6
観光客の誘致・
地域PR

2 観光資源を活かした魅力ある地域づくりの推進

観光ニーズの多様化に伴い、特色ある観光資源やグルメスポット、着地型体験商品を求める傾向にあるなか、交通手段の確保、お土産品の不足、ひいては後継者不足による飲食店・宿泊施設の廃業など様々な問題を抱えています。

企業様へ
豊かな自然、食、歴史、文化等の地域資源や地域産業等を活かした、交流人口の拡大に繋がる様々なアイデアやご支援をお願いします。



苓北夕やけマラソン

カテゴリ 4
児童福祉

3 子育て支援医療の充実

出生数の減少傾向は変わらず、今後、若年者人口の減少が見込まれます。また、核家族化の進行や地域とのつながりが希薄化するなど、子育ての孤立や家庭や地域における子育て力の低下が課題となっています。

企業様へ
子育てを支援する生活環境の整備や、仕事と子育ての両立支援を推進します。企業様のご支援、ご協力をお願いします。



カテゴリ 9
まちづくり

4 町内交通政策の充実

苓北町は、町内巡回バスの運行を行っています。しかし、地域によって利用者数に大きな差があるのが現状です。今後は、利用促進に向けて、利用者のニーズを的確に把握したうえで通行ルートの再設定などの見直しが必要となります。

企業様へ
今後も買い物弱者や高齢者等の移動手段確保を図る効果的な施策展開を行います。移動手段確保に向け、企業様のご支援をお願いします。



苓北町巡回バス

重点プロジェクト

町にしごとをつくり、安心して働けるようにする事業

(SDGs)関連するゴール



総事業費 寄附目標額
数値目標 ●新規起業・創業件数 ……26件(5年間(R2~R6)累計)

背景・現状の課題

本町では、平成29年度に企業誘致支援制度の要件緩和を行い、積極的な企業誘致を行うとともに、用地の確保や整備を行っています。また、平成28年度より小規模事業者支援補助金制度を創設し、町内での新規創業と後継者育成を支援するとともに、関係機関との連携により、広域での企業説明会などを行い、求職者へ地元企業への就職を促すよう努めています。

若年者が就職時に町外へ流出することがないよう、魅力的な雇用を創出・拡充することが求められます。このため、本町の地理的条件や特性を踏まえた企業誘致に取り組むほか、広域的な産業・雇用創出に向けた一体的な施策の展開と共に、関係機関との連携により町内での就業率向上を図る必要があります。



九州電力苓北発電所

苓北町にしごとをつくり、安心して働けるようにする事業

苓北町の人口減少に歯止めをかける安定した魅力ある雇用の創出と安心して働ける環境の実現を目指す。

【具体的な事業】

- 半島振興法や地域未来投資促進法に基づく企業等に対する地方税の優遇措置のPRを図り、企業等への税制面での支援に取り組む
- 小規模事業者等の創業に係る費用に対する支援
- 農林水産業で生活できる収入の確保
- 後継事業者支援 等

事業の目的・内容

企業誘致条例に基づき、豊富な自然資源を生かした誘致活動を引き続き推進していくとともに、用地の確保や整備を進めていきます。また、広域的な産業・雇用創出のため、地元企業への就職を推進していくとともに、新規創業や後継者育成の支援などによる労働力の確保を図ります。



寄附の具体的なメリット

寄附による社会貢献を通じた法人のイメージアップや認知度向上はもちろん、寄附による町政の様々な創業支援等の施策に充当することで、地方の若年層の人口減少に歯止めをかけるとともに、まちの活力アップに繋がります。

重点プロジェクト

町とのつながりを築き、町への新しいひとの流れをつくる事業

(SDGs)関連するゴール



総事業費 寄附目標額
数値目標 ●観光年間入込人数(県観光統計ベース) …2,000人(平成30年) → 76,000人(令和6年)
●移住・定住世帯数 ……5年間(R2~R6)で 20世帯

背景・現状の課題

観光ニーズの多様化に伴い、観光資源やグルメスポット、着地型体験商品を求める傾向にあるなか、交通手段の確保、お土産品や後継者不足による飲食店・宿泊施設の廃業などさまざまな問題を抱えています。インバウンド客の取り込みやリピーターの獲得による交流人口の拡大を図るため、観光を産業として捉えた「稼げる観光」を構築していくことが必要です。

本町では、富岡城内に歴史資料館をはじめ、東西角櫓の整備や、新たな観光交流拠点となる富岡港船客待合所に観光案内所を移設するなど、既存の観光・交流資源を活用した取組を行うとともに、歴史をテーマとした施設の整備や、自然をテーマに体験・体感型観光の創出に努めています。



富岡城

交流人口の拡大、関係人口の創出・拡大、町への移住を推進する事業

【具体的な事業】

- 観光協会の育成・強化
- 町主催スポーツ大会の開催・内容充実・情報発信
- 航路利用促進のための情報発信
- 空き家バンク制度の運営と町HPや各媒体を活用した情報発信
- 既存・新規宅地分譲地情報の発信 等

事業の目的・内容

観光協会の事務局体制の見直しを含め、「観光振興のシンクタンク的な役割」「イベント事業の実施部隊としての役割」を担うべく、組織の機能強化を図ります。また、苓北の「食・特産品」と観光資源をコラボさせた着地型体験商品を造成を図り、交流人口の拡大を促進します。



苓北じゃつと祭

寄附の具体的なメリット

「企業版ふるさと納税」においては、お金を寄付する以外に、地方公共団体へ人材を派遣して「人件費を含む事業費について寄付する」という人材派遣型の寄付制度もあるため、それに伴う地方創生への貢献や苓北町や住民との繋がりの構築。

●その他の寄附事業に関しましては、最寄りの肥後銀行までお問い合わせください。